

## 2020 年度実施概要

学校名

佐世保市立宇久小学校

採択活動名

「宇久島宝探し～海から学ぶプロジェクト～」

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 砂浜の植物観察	1・2年	宇久・実践
2. シーカヤック体験	5・6年	宇久・実践
3. ウニ割り体験	3・4年	宇久・実践
4. 磯の生き物観察	1・2年	生活
5. 宇久島の特産品づくり（塩作り）	5・6年	宇久・実践
6. 釣り体験	3～6年	クラブ活動
7. 椿の植樹・椿油作り	1年	宇久・実践
8. 地域食材を生かした料理	全学年	宇久・実践
9. 宇久島の魅力を伝えよう	5・6年	英語
10. 宇久の未来について提案しよう	6年	国語、宇久・実践

取り組みの概要

発達段階に応じて、低学年では「海に親しむ」「海を知る」こと、高学年では「海を生かす」「海を守る」ことを中心に活動に取り組んだ。

1・2年生が行った「砂浜の生き物観察」や「磯の生き物観察」では、希少な生き物や植物が生息する砂浜で、生き物の専門家の解説を聞きながら、生き物を探したり、実際に触ったりしながら海に親しんだ。また、3年生以上がクラブ活動で行った「釣り体験」においても、保護者や地域の方にボランティアとして協力していただきながら、アジやカマス釣りを共に楽しんだ。昨年度、観光協会に提案したことが契機となり、宇久島でもシーカヤック体験ができるようになった。そこで、5・6年生がさっそくシーカヤック体験を行い、宇久の海の新しい楽しみ方を味わうことができた。

豊かな海の資源を生かした活動にも、多く取り組んだ。3・4年生は、近年漁獲量が減り、希少になっているウニについて学び、観光協会の支援によりウニ割りを体験した。体験を通して学んだことは、壁新聞にして発信した。5・6年生は、海水から塩を作り、作った塩を島の特産品づくりに生かそうと、ポテトチップス等の商品開発に取り組んだ。作った塩は、全学年がそれぞれに取り組んだ「地域食材を生かした料理」にも生かされ、宇久高校生徒が今年度も製造した「魚醤油」や地元の海産物とともに、炊き込みご飯やお吸い物、スイーツ等にも使われた。

港の防風対策及び美観を守るために取り組んでいる椿の植樹が発展し、1年生では、島内の椿の実を集め、地域の方の協力を得て椿油を絞りと、観光協会の指導の下椿油石鹸を作った。作った石鹸を同じ離島部に位置する対馬南小学校に送ったことをきっかけに、通信機器を使ってオンラインで交流することができた。これ機に、今後も交流を続けたいと考えている。

5・6年生は、海を始めとする宇久島の魅力を英語で表現し、リーフレットにまとめた。リーフレットは観光協会に置いてもらい、新型コロナウイルス感染症が落ち着き、再び外国人観光客が訪れるようになったら、島内観光に活かしてもらおう予定である。6年生については、国語科「海の命」の学習と関連させ、作品における主人公の生き方と自分自身とを重ね、自分や宇久のこれからについて考え、表現した。

活動中の写真

